

2 月 20 日 : VN 指数は 1%上昇、大型株が牽引

VN 指数は 9.37 ポイント (1.01%) 上昇し 938.13 ポイントで取引を終えた。多くの大型株が上昇して取引を終えた。

ホーチミン取引所では 228 銘柄が上昇し 125 銘柄が下落した。

相対取引では 2.7 兆ドンと前日よりも 10%ほど上昇をした。

VN30 指数は 0.88%高となり 17 銘柄が上昇し 7 銘柄が下落した。

FLC ファロス建設が 6.8%高となり最も上昇した銘柄となった。同銘柄は最もボラティリティの高い銘柄となっておりストップ高とストップ安を繰り返している。

それに続いたのがビンググループ (VIC) で 4.8%高となった。

直近 4 営業日中の 3 営業日で下落をしていた VIC であったが、直近 3 か月には 0.3%以上動くことがほとんどなかった銘柄だった。

ビンコムリテール (VRE) とビンホームズ (VHM) もそれぞれ 2.5%と 1%上昇した。

石油ガスセクターでは値下がりした銘柄が無かった。ペトロベトナムパワー (POW) は 4.3%高、ペトロリメックス (PLX) は 0.6%高、ペトロベトナムガス (GAS) は変わらずだった。

その他、VP バンク (VPB) は 2.7%高でホアファットグループ (HPG) は 2.2%高と大きく上昇した。

一方、コテコンズ建設 (CTD) は 3.4%安となり、VN30 指数の中で 1%以上下落した唯一の銘柄となった。

フーニュアンジュエリー (PNJ) は 0.2%安でその他の下落株は銀行セクターだった。

サコムバンク (STB)、テクコムバンク (TCB)、エクシムバンク (EIB)、HD バンク (HDB) などは 0.4-0.9%ほど下落した。

ベティンバンク (CTG) は 0.4%安、BIDV 銀行 (BID) とベトコムバンク (VCB) は変わらずだった。



ハノイ取引所の HNX 指数は 0.7%安となり、UPCoM 指数は 0.27%高となった。

外国人投資家は 8 営業日連続の売り越し、CTG、マッサングループ (MSN) などに売りが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。